

祝 辞

理事長 柳谷 孝

新入生の皆さん、このたびはご入学、誠におめでとうございます。また、これまで新入生を支えてこられたご家族やご列席の皆様に対しまして、心よりお慶びを申し上げます。

明治大学は、1881年に志高き20代後半の3人の若者により創立されました。当時の日本は、封建社会であった江戸時代が終焉し、社会構造が大きく変化した激動の時代でありました。西欧諸国をモデルにした日本の近代化が急務である中、フランス法を学んだ岸本辰雄先生、宮城浩蔵先生、矢代操先生が、近代化に不可欠である法学を日本に普及させ、新しい世を作らんと学校を設立しました。それが明治法律学校であり、現在の明治大学であります。本学は、2021年に創立140周年を迎え、これまで約61万人の卒業生を輩出しましたが、開校当時の熱き想いは「権利自由」「独立自治」の建学の精神として、現在まで脈々と受け継がれています。明治大学の校歌には、そうした建学の精神や気風が溢れていますので、是非皆さんも歌い継いでください。

さて、本学は昨年11月、川端康成や三島由紀夫をはじめとする数多くの文豪に愛されたことで知られる「山の上ホテル」の土地と建物を取得いたしました。2031年に迎える創立150周年記念事業の1つとして再整備し、明治大学の新たなシンボルとして未来に継承してまいります。ところで皆さんは、この「山の上ホテル」が、明治大学卒業生である佐藤慶太郎によって建設されたことをご存知でしょうか。佐藤は、明治法律学校で学問に励み、卒業後は地元福岡で石炭商の事業を起しました。彼は、常に真摯に物事に取り組むことを重んじ、「石炭の善し悪しが分からないと人様に販売ができない」と、自ら危険な炭鉱に潜り石炭の質を調べるなど寝る間も惜しんで熱心に研究を重ね、見ただけでどの炭鉱で採掘された石炭か分かるようになります。こうした誠実な経営で取引相手から大いに信頼を得た結果、「石炭の神様」と称されるほどの成功を収めます。しかし、佐藤は、「自らの財産は社会からの預かりもの。世に返すのは当然である。」という揺るぎない信念を持ち、自身は質素な生活に徹し、社会奉仕に熱心に取り組みました。そして、女性の教育を支援するため家政学校のような施設として「佐藤新興生活館」を建設し、この建物が後に「山の上ホテル」となったのです。また、明治大学女子部校舎の建設にも多額の寄付を行い、朝ドラ「虎に翼」の主人公のモデルとなった三淵嘉子はこの校舎で学び、後に久米愛、中田正子とともに我が国で初めての女性弁護士となりました。更には日本初の公立美術館である上野の東京都美術館の建設には、現在の価値で約30億円に相当する100万円を寄付しました。近年、企業経営において経済的利益だけではなく、「なぜその事業を行うのか」といったパーパス、すなわち志が問われるようになっていますが、財産の全てを投じ、人生をかけて文化や芸術、そして教育といった様々な分野の発展を支えた佐藤慶太郎は、まさに志に生きた人でありました。

翻って現代社会に目を向けますと、ChatGPTに代表される生成AIは、あっという間に私達の生活に身近なものとなり、ビジネスの世界においては、商談から生産管理そして経営戦略に至るまで、あらゆる仕事に対して自ら考え行動することのできる「AI エージェント」と呼ばれるシステムの実用化が始まっています。一方、世界経済フォーラムが本年1月のダボス会議前に公表したグローバルリスク報告書では、昨年に引き続き「誤報と偽情報」が今後2年間における最も大きなリスクとされ、AIが選挙介入からサイバー犯罪や軍事目的に至るまで、あらゆる場面で悪用される危険性を指摘しています。つまり、この驚異的な技術をどのように、何のために活用するかは、我々次第なのです。さらにはまた、日本の人口減少は加速度的に進行しており、国立社会保障・人口問題研究所（IPSS）による最新の人口推計では、現在約1億2,400万人の人口は、2100年には6,300万人に半減し、高齢化率は40%になると予想しています。このように社会の在り方が大きく変化していく中で、私達は自らの歩む道をしっかりと見定め、一人一人が主体性と自らを律する力であるセルフガバナンスを強化し、新たな時代を創造していくことに一層貢献していく必要があるでしょう。まさに本学が理念として掲げる「『個』を強くする」ことが我が国全体にも求められる時代になるのです。

新入生の皆さんにおかれましても、これから始まる学生生活において勉学に励むことはもちろんのこと、世界で起きている様々な問題や課題に当事者意識を持ち、今後社会はどうあるべきか、そしてその実現のために自分自身は何をすべきなのか能動的に考えを巡らせてください。しかしながら、自己と向き合うということは、一人で思い悩むことでも、インターネットを通じて正解を探し出したり、AI が導き出した答えを鵜呑みにしたりすることでも決してありません。明治大学には、全国そして全世界から、年齢も国籍も異なる多様な学生が集まっています。ほんの少し勇気を出して、できるだけ多くの人達と交流を深め切磋琢磨をしてください。様々な価値観や文化的背景を持つ人達との時間を通じて得た知識や経験は、必ずや皆さんが新しい時代の扉を開くための鍵となることでしょう。皆さんの前途は、大きく開かれています。高い志を持ってその人生を歩んだ佐藤慶太郎のように、本学において揺るぎない「個」を磨き、人間性豊かに成長を遂げられますことを大いに期待しております。

結びになりますが、ここに皆さんのご入学を心よりお祝い申し上げますとともに、明治大学における学生生活が実り多いものとなりますことを祈念し、祝辞といたします。